

研究部報告

副委員長 濑川明廣



1. 研究主題

自ら創造的に学び 豊かな心でたくましく郷土を拓く子供の育成
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、一人一人の児童生徒に「新たな時代を生き抜くための力」を育む学校・学級経営と學習指導の充実をめざして～

2. 研究活動の重点と成果

道へき・複連の第 7 次長期 5 か年研究推進計画の 4 年次目として、研究成果の累積・還流を図ると共に、残された課題を整理し、第 8 次長計に向けた展望を明確にする。

- (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
- (2) 全道へき地複式教育研究大会の効果的な開催
- (3) 第 7 次長期 5 か年研究推進計画の 4 年次目としての実践研究の集約
- (4) 第 8 次長期 5 か年研究推進計画の策定
- (5) 「研究部情報」の編集と発行
- (6) 教育関係各機関・団体との連携
- (7) 全国へき地教育研究連盟との連携

《おもな成果》

◎第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知大会

9 月 20 日・21 日、空知管内 9 会場（10 分科会）で開催され、全道各地から 694 名の参加者があった。大会スローガン「緑の大地に生きる空知の子らに豊かな心と確かな力を」のもと熱意と創意に満ちた授業公開と研究協議で大きな成果を上げた。過疎化やグローバル化による非常に厳しい環境にもかかわらず新しい時代を拓くための様々な努力が見えた大会であった。

◎第 57 回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会

9 月～11 月、檜山管内 7 会場で開催され、のべ 426 名の参加者があった。大会スローガン「新しい歴史を拓く檜山の子らに豊かな心と確かな学力を」を合い言葉に、どの会場も教育委員会をはじめとする地域の全面的な協力を得て、活気ある研究大会を開催していた。20 年度には、瀬戸内寂聴氏を招いての講演会を予定しており、本大会に向けての成果が期待される。

◎第 23 回北海道へき地複式教育実践研究発表大会

10 月 23 日、ホテルライフォート札幌において開催され、総勢 70 名の参加があった。

道内 4 地区からの第 7 次長期 5 か年研究推進計画に基づいた実践研究の提言について、質の高い研究協議が展開され、その成果を全道各地域に還流することができた。また、北海道教育大学釧路校教授、高嶋幸男氏（へき地教育研究センター運営委員）より、「地域と学校から学ぶ教師教育」の講話をいただき、地域に根ざした教育活動に関する研修を深めた。

◎第 8 次長期 5 か年研究推進計画の策定

昨年度に統一して、年間 5 回の策定委員会を持ち、教育の動向を見据えながら、第 7 次長計の基本方針を踏まえて第 8 次長計を策定した。

◎第 7 次長計に基づく実践的研究の集約・整理

道へき・複連の第 7 次長期 5 か年研究推進計画の 4 年目として、これまでの長期・課題別・共同研究方式を継承した研究の普及に務めるとともに、年 4 回の会議の中で各地区の実践記録等を持ち寄り、交流することができた。

3. 研究部事業報告

- | | |
|--------------------|--|
| 5 月 21 日 | 第 1 回企画・長計策定委員会
・日程及び業務内容の確認と役割分担
・研究推進委員会の協議内容検討
・第 8 次長計策定の全体構想 |
| 5 月 21 日
～22 日 | 第 1 回研究推進委員会
・平成 19 年度研究部計画の確認
・研究推進委員会の組織構成の確認
・研究推進委員の業務・役割分担
・全道へき地複式教育研究大会空知大会の助言者の決定
・全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会の助言者の決定
・平成 19 年度研究主題一覧
・指導形態等調査結果の取りまとめ
・各管内へき・複連の活動状況の交流 |
| 7 月 2 日 | 第 2 回長計策定委員会 |
| 7 月 2 日
～3 日 | 第 2 回研究推進委員会
・各地区研究主題一覧
・指導形態等調査資料発行
・研究部情報第 1 号の発行（各管内に CD 1 枚配布）
・全道へき地複式教育研究大会空知大会
・檜山プレ大会への協力
・第 23 回教育実践研究発表大会の運営と役割分担
・各管内へき・複連の活動状況の交流 |
| 9 月 20 日
～21 日 | 第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知大会
・空知管内 9 会場（10 分科会の助言） |
| 9 月
～11 月 | 第 57 回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会
・檜山管内 7 会場（助言） |
| 10 月 22 日 | 第 3 回長計策定委員会
・分野目標と課題についての検討他 |
| 10 月 22 日
～23 日 | 第 3 回研究推進委員会
・根室大会、空知プレ大会の概要並びに助言報告
・道へき複式教育実践研究発表大会の準備・運営 |
| 10 月 23 日 | 第 23 回北海道へき地複式教育実践研究発表大会 |
| 1 月 11 日 | 第 2 回企画委員会
・第 4 回長計策定委員会
・次年度の研究推進体制・内容・第 8 次長計各執筆担当部分の内容の協議 |
| 2 月 14 日 | 第 5 回長計策定委員会
・各執筆担当部分の内容の確認と校正 |
| 2 月 14 日
～15 日 | 第 4 回研究推進委員会
・研究部情報 2 号の発行（各管内に CD 1 枚配布）・19 年度事業反省・まとめ・20 年度研究計画・第 8 次長計「計画への展望」部分の内容確認 |